

[学研の図鑑] キン肉マン 「超人」大解剖!

© YUDETAMAGO

大きななかま分け

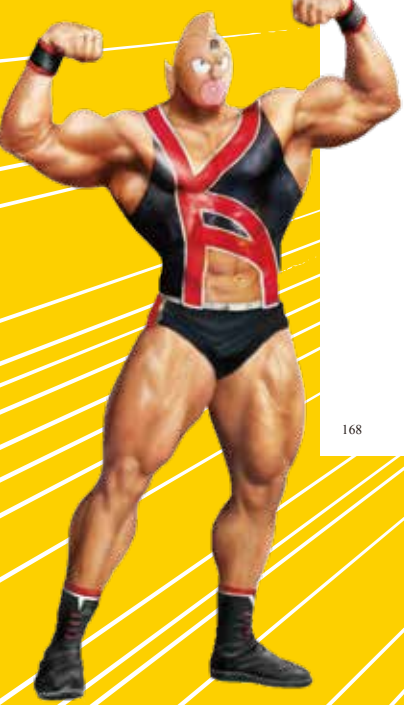
超人たちを35のグループに分けています。

小さななかま分け

さらにこまかくグループ分けしています。

名場面

超人たちの戦いの名場面を迫力のカラーイラストで紹介しています。



道具のなかま

Tools 道具のなかま

道具系超人の特徴

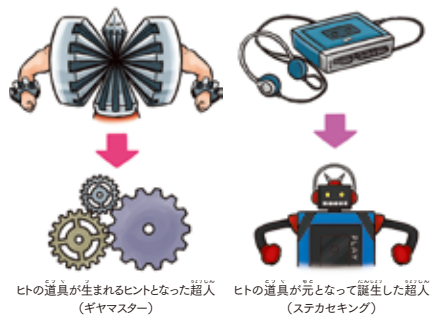
道具のなかまの超人は、ヒトの生活に密着したものが多く、窮地を救うことが目的の超人において、もっとも身近な存在である。体に道具の特徴を備えており、超人レスリングにおいてはそれらの特性を攻撃や防衛にいかした、くせもくせもあるファイトスタイルをとる。



▲ベンキマンは本物のトイレとして人の役に立つこともある。

● 人類の発展と結びついた道具系超人

道具系超人の来歴は大きくふたつのパターンがある。ひとつは、ベンキマンがトイレの次元になったように、ヒトの道具の発展に影響をもたらした超人。もうひとつはその逆で、ステカセキングのようにヒトが開発した道具が元となって誕生した超人だ。



ヒトの道具が生まれるヒントとなった超人 (ギヤマスター) ヒトの道具が元となって誕生した超人 (ステカセキング)

168

コラム

もっと超人にくわしくなる情報をイラストなどといったしよに掲載しています。

工具の超人

工作中において使用される道具・工具の特性を備えた超人群。



◆ギヤマスター
Gear-Master (ギ) (歯車) 260cm 1.2t 6200万
オメガ・ケンタウルス軍団
ギューギューイ、ギョギョ
「オメガ・ケンタウリの穴鑿客」のひとり。上半身は4つの巨大なギヤから構成され、そのかみ合う回転を利用して敵を粉砕する。また、ギヤを高速回転させることで風を起すことができる。手足の歯車をそれぞれ回転させ、敵の体を削ることも可能。大量の砂などがギヤにかむと、回転を停止せざるを得ないのが弱点。なお、体を構成するギヤの精巧さは「アンティキティラ島の機械」に代表される島の高度な技術を象徴するものだ。

→ スクリュー・キッド

Screw Kid (ねじ) 215cm 105kg 1300万
アメリカ合衆国 (ネバダ) ウィンチェスター
突き刺すキックが得意な完璧超人。頭部と、背にも出現せられるねじ穴を回し、敵にねじ先をえぐり込む。回しすぎてもねじ穴が体にめり込むことはない。



▲必殺技は、胸と膝のねじ先で敵をつらぬく四角スクリュー貫刺。

↑ ギガ・ホイール Giga Wheel (ギ) (歯車) 192cm 90kg 85万 イギリス
全身に歯車がついている超人。体中の関節が歯車が連動しており、関節技には不可逆的な力加わり、敵は脱出不可能となる。握力も強く、つかんだ獲物は放さない。



肉ちしき

「アンティキティラ島の機械」は紀元前100年ごろの天文計算機と考えられ、科学的検証がもっともなされているオーパーツといえる。

肉ちしき

超人に限らず、関連するテーマについて、知ってとくするトリビアなどを掲載しています。

道具のなかま



引き出し情報

体の特徴や部位の名称を説明しています。

大きさくらべ

身長185cmのキン肉マン(キン肉スグル)と、超人たちの大きさをシルエットでくらべています。怪獣・怪人は巨大化していないときの大きさになっています。

169